

わが家のアイドル

箕作にお住まいの
市川 大介さん・直子さんの

まほ
長女 真帆 ちゃん (3歳7か月)

ゆうと
長男 雄斗 くん (1歳9か月)

みなさん、こんにちは！！
稲穂の自然につつまれ、元気いっぱいの2人です！！
もうすぐ桜の季節、近くのしだれ桜をお父さんとお母さんと見に行くのが楽しみです。



みなさんのお宅のアイドルの写真を募集しております。市役所総務課へどしどしお寄せください。



下田人の息づかい

下田節

『伊豆の下田に長居はおよし
縞の財布が軽くなる』

このフレーズから始まる港町下田の郷土民謡が下田節です。約400年前から唄われているといわれています。

上の絵葉書は、昭和初期に発行されていたもので、武ガ浜が埋め立てられる以前、砂浜であったときのものです。

見てのとおり、風景だけではなく、浜辺で楽しそうに下田節を踊る芸者さん達を描いています。

当時を記した本によると、団体の予約が入ったとき、芸

者達はわざわざ浜辺まで出向え、下田節を踊り、お客さん達にこの絵葉書を買ったそうです。綺麗な浜辺を前に美しい踊りを見て、旅の思い出に思わず絵葉書を買ってしまう気持ちには現代人にも十分通ずるものがあります。

下田の人々は観光に訪れた方々へ美しい風景だけを見せるのではなく、おもてなしの心を持って精一杯下田を楽しんでもらおうとしていたことが伺えるエピソードです。

下田節は、港町情緒のある歌で、主にお酒の席で歌われてきました。歌詞にある「縞の財布が軽くなる」は、風待ち港として栄えた下田の様子を表すと共に、おもてなしの心で下田を満喫してしまい、つついとお金を使ってしまう笑顔のお客さんを想像してしまいます。

下田節は大変難しいため、現代では下田に住む人でも唄える人が少なくなってきましたが、それではいけないと次世代へ受け継ごうとしている方々もあり、下田まち遺産に認定させていただきました。

問合せ先 建設課都市住宅係

☎ 22219



伊豆縦貫自動車道を早期完成しよう！！

「伊豆縦貫自動車道ロゴマーク」を利用して、伊豆縦貫自動車道の整備促進と活性化を県内外にPRしましょう！！ご利用方法については、以下の市ホームページをご覧ください。

■ 下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>